

A 地域・連携部 最後まで頑張る子

- 保護者・地域との連携を強化する
- ・保護者会や相丘小だより・HP等で、積極的に学校の情報を発信・共有する
 - ・地域や保護者からの声には誠実な態度、謙虚な気持ちをもって接し、信頼関係を作っていく
 - ・児童が見通しをもって工夫して活動できるような教育活動の推進を目指す
 - ・B、C、Dとの連携を深め、よりよい教育課程の編成を推進する

評価対象	項目	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	思わない	分からない
児童	1 学校へ行くのが楽しいです。	57%	26%	6%	5%	6%
	2 友達と協力して行事などに取り組んでいます。	54%	32%	5%	2%	7%
	3 地域の行事に進んで参加しています。	21%	32%	16%	12%	19%
教職員	1 学校は、学校だより・HP等で児童の活動や学校の様子をわかりやすく伝えている。	83%	17%	0%	0%	0%
	2 一斉LINEを利用し、学校からの連絡・情報を適切に伝えている。	86%	14%	0%	0%	0%
	3 地域や保護者から学校に寄せられる声には、誠実な態度、謙虚な気持ちをもって接している。	89%	11%	0%	0%	0%
	4 地域と共に子どもを育てていくことを理解し、すすめている。	66%	34%	0%	0%	0%
保護者	1 ご家庭で、保護者会・学校学年便り・HP等で、学校の様子を積極的に知るようになっている。	45%	44%	7%	2%	2%
	2 学校でお子さんが意欲的に学校生活を送れるよう、ご家庭で声掛け等、配慮している。	52%	43%	4%	0%	1%
	3 家庭で、学校・地域との連携を深めるよう努めている。	19%	54%	19%	5%	3%
	4 お子さんは、取り組んだことを最後まで頑張ることを大切にしている。	43%	42%	10%	3%	2%
地域 (コミュニティ・スクール関係の方々)	1 (学校運営協議会委員)学校運営の基本方針について理解を深める事を通し、地域と共にある学校づくりに参加することができた	22%	67%	11%	0%	0%
	2 (地学連協委員)子ども達の豊かな心を育む活動を通し、地域で学校理解の輪を広げる努力をすることができた。	0%	56%	33%	0%	11%
	3 学校は 児童が意欲的に学校生活を送れるような学校づくりに取り組んでいる。	72%	16%	6%	0%	6%
	4 学校は 児童が意欲的に学校生活を送れるような学校づくりに取り組んでいる。	72%	22%	0%	0%	6%
	8 学校・家庭・地域で育てたい子ども像が共有されている。	16%	33%	22%	0%	29%

【考察】

① 児童アンケートより

⇒ 学校生活を楽しく前向きに過ごしている子が80%強ですが、今後更に肯定的な評価が得られるよう、児童に働きかけていきたいです。
⇒ 地域の行事への参加の割合が伸びない背景に、休日の児童の忙しさ(習い事等)が見取れます。地域行事への参加率を上げるには、学校・家庭・地域が連携し、積極的に働きかけていくことが必要だと感じます。

② 教職員2:一斉LINEの利用が便利である。

⇒ 「スマホで連絡とれーる」の利用が日常化し、保護者との連携がスムーズに行われるようになりました。ご協力ありがとうございました。

③ 地域8:育てたい子ども像の共有できていない課題。

⇒ 学校説明会、学校運営協議会等で、「目指す子ども像」をお伝えしてきましたが、全体周知に至るまでは、推進が弱かったように感じています。常日頃からもっとアピールする形を検討していきます。

④ 地域8:(予算があれば)、中学校・高校にかかっている、「インターハイ出場」のように、学校目標を常に掲示してはどうか。

⇒ R7年度の「50周年記念事業」の中に盛り込むことができるよう、地域、保護者の皆様に計画的に周知をするようにしていきたいと思えます。

④ 保護者アンケート回答より

⇒ 学校教育全般について関心が高く、熱心に教育を進めている姿勢が読み取れました。日頃からのご協力、ご支援に深く感謝し、今後も更に連携が深まるように努めて参ります。